

組み立てを考えて、はっぴょうしよう

中心学習材 「あったらいいな、こんなもの」(光村図書2年下)

<付けたい力>

◎自分が考えたものについて、相手に分かるように、話す事柄の順序を考えて話す力(話・聞イ)

○分かりやすい発表にするために、声の大きさや速さなどに注意しながら、丁寧な言葉で話す力。(話・聞ウ)

<単元を貫く言語活動>

「あったらいいな」と思うものについてグループで説明し合う。

<主体的な思考・判断・表現を促す手立て>

- ・第1次で、「あったらいいな」と思うものを発表する教師のモデル提示を通して、話題についての具体的なイメージと、『あったらいいな』発表会」をすることへの課題意識や見通しをもてるようにする。
- ・第2次で、ペアで説明しアドバイスする活動を通して、「わけ」「はたらき」「形や大きさなど」の観点に沿って具体化した話す事柄を、発表時の条件を意識して取捨選択し、順序を整えられるようにする。

1 子どもと単元について

(1) 子どもの実態

前単元では、「大好きなもの(こと)」についてみんなの前で紹介し、感想を言ったり質問したりする学習を行った。この学習を通して、伝えたいことを決めて必要な材料を集めたり、「始め—中—終わり」の構成に気を付けながら話す順序を考えて紹介したりすることができるようになってきている。この学習を受け、本単元では、考えたことが相手に分かるように、話す事柄の順序を考えて説明する力を高めていきたい。

(2) 学習材について

中心学習材「あったらいいな、こんなもの」は、「あったらいいな」と思うものが相手に分かるように、話す事柄を考える観点と発表の組立てが紹介されており、それらをモデルとして「考えたもの」を相手に分かるように説明する方法を学ぶ学習材である。分かりやすく説明するために必要な事柄と発表の組立て方、発表練習のためのメモの書き方を学び、聞く相手を意識して繰り返し練習することによって、分かりやすい説明の仕方が身に付いていくと考える。

(3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、『あったらいいな』と思うものについてグループで説明し合う」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。

【話題】「あったらいいな」と思うもの

【形態】4名程度のグループ

【構成】○スピーチの組立て(発表メモ)

〈始め〉考えたものの説明

〈中〉・考えたきっかけやわけ ・考えたものの詳しい説明(形や色、大きさ、機能など)

〈終わり〉終わりだと分かる表現

○発表会の構成

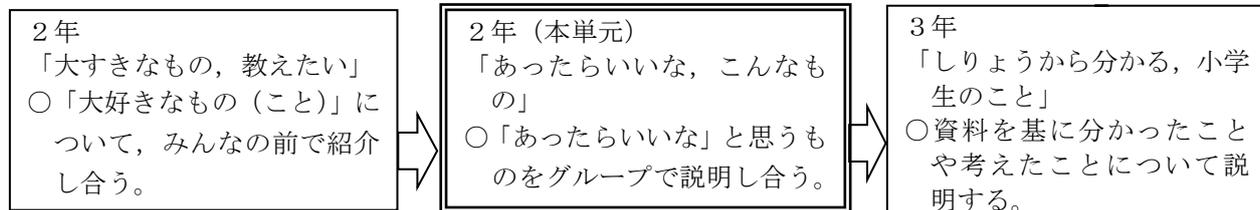
・発表

・もっと知りたいことへの質問

・いいと思ったところや話し方についての感想

<p>【技能】 話し手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「始め・中・終わり」の組立てに沿って、話す事柄の順序を考える。 ・相手意識をもって話す。(声の大きさ、聞き手を見る、速さ、絵を見せるなど) ・メモを参考にしながら、丁寧な言葉で話す。 <p>聞き手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたいことを質問する。 ・いいと思ったところや話し方について、感想を伝える。
--

「紹介や説明をする」という言語活動の系統は、以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つのことを大切にします。

一つ目は、『あったらいいな』はっぴょう会」という言語活動に対する課題意識と見通しを明確にもって、単元の学習に取り組めるようにすることです。そのために、第1次では、教師が考えたものを発表するモデルを提示し、考えたものを発表するのは面白そうだという興味関心をもたせたい。その中で、本単元では、相手に分かりやすいように発表の組立てを考えることや発表メモを書くことが必要であることに気付かせ、『あったらいいな』はっぴょう会」をすることへの課題意識と見通しをもたせたい。

二つ目は、話すために必要な事柄を考える力を高めることです。話す順序を主体的に考えるためには、話す事柄を明確にもっていなければならない。第2次では、「あったらいいな」と思うものについて、「わけ」「はたらき」「形や大きさ」という観点に沿って友達と質問し合う活動を通して、話すために必要な事柄をより具体的に考えさせたい。

三つ目は、相手に分かるように話す事柄の順序を考えて話す力を高めることです。発表の時間的な条件や伝えたいことの優先順位を意識して話す事柄を取捨選択し、ペアで説明しアドバイスする活動を通して、分かりやすく説明する順序を考えさせたい。

これらを通して、自分が考えたものについて話す事柄を考え、相手に分かるように順序を考えて話す力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

○相手に分かるように話したり、友達の考えたものについて質問したり感想を言ったりしようとする。

【関心・意欲・態度】

◎自分が考えたものについて、相手に分かるように、話す事柄の順序を考えて話すことができる。

【話すこと・聞くこと イ】

○分かりやすい発表にするために、声の大きさや速さなどに注意しながら、丁寧な言葉で話すことができる。

【話すこと・聞くこと ウ】

○物の形や働きを表す言葉の働きに気付くことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ア)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す能力・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○丁寧な言葉で順序よく話したり、友達の考えたものや発表の仕方について質問や感想を述べたりしようとしている。	◎自分が伝えたいことと相手にとっての分かりやすさを考えながら、話す事柄の順序を自分なりに工夫して話している。 ○聞き取りやすい声の大きさと速さで、丁寧な言葉を遣って話している。	○物の形や働きを表す言葉の働きに気づき、発表の中で適切に使っている。

4 学習指導計画（全14時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な手立て】

第1次
単元の学習について、課題意識と見通しをもつ。（1時間）

- ① 単元のねらいが分かり、「あったらいいな」発表会をすることへの課題意識と見通しをもつ。
 <評価> _____
 ① 教師の発表を聞いて質問や感想を述べたり、発表会をすることへの期待をシートに書いたりしている。
 《発言・シート》

教師のモデル提示を通して、話題についての具体的なイメージと、『あったらいいな』発表会をすることへの課題意識と見通しをもてるようにする。

第2次
中心学習材「あったらいいな、こんなもの」から学んだ発表の組立て方と発表メモの書き方を基に、発表の準備をする。（10時間）

- ② 「あったらいいな」と思うものを考えて絵に描く。
 ③ 考えたものについて説明する事柄を詳しく考えるために、ペアで質問し合う対話の仕方を知る。
 ④⑤友達との対話を通して説明する事柄を詳しく考える。
 ⑥ 発表会のときの話し方と聞き方を理解する。
 ⑦ 発表メモの書き方を知る。
 ⑧ 発表の組立てをを考えて発表メモを作る。（本時）
 ⑨ 発表資料の整理をする。
 ⑩⑪相手によく伝わるように、発表の練習をする。
 <評価> _____
 ② 「あったらいいな」と思うものを考えて絵に描いている。
 《シート》
 ③ 中心学習材の対話モデルをまね、ペアと目を合わせて質問したり答えたりしている。 《観察》
 ④⑤対話を通して詳しく考えた事柄を、絵や文で書き足している。 《発言・シート》
 ⑥ 発表の順序、表現の工夫、話し方を理解し、発言したり書いたりしている。 《発言・シート》
 ⑦ 話す事柄を短い言葉でまとめている。 《発言・シート》
 ⑧ 分かりやすく説明するポイントをおさえて、発表メモに付箋を貼っている。 《発言・発表メモ》
 ⑨ 発表のときに使う絵やメモを見直している。 《シート》
 ⑩⑪声の大きさや速さなどに注意しながら、発表練習をしている。 《シート・観察》

ペアで説明しアドバイスする活動を通して、「わけ」「はたらき」「形や大きさなど」の観点に沿って具体化した話す事柄を、発表時の条件を意識して取捨選択し、順序を整えられるようにする。

第3次
「あったらいいな」発表会をし、単元の学習を振り返る。（3時間）

- ⑫⑬グループで「あったらいいな」発表会をする。
 ⑭ 単元の学習を振り返る。
 <評価> _____
 ⑫⑬「始め・中・終わり」のまとまりごとに、聞き取りやすい声の大きさや速さ、丁寧な言葉で発表している。
 《発表・シート》
 ⑭ 単元を振り返り、どんな力が身に付いたのか、発言したりシートに書いたりしている。 《発言・シート》

相互評価を通して、身に付いた力を実感できるようにする。

【他教科等活用場面】
 ○生活科で、調べたことや活動したことを分かりやすく発表する。

5 本時の指導（8／14時）

(1) ねらい

考えた道具の便利さや楽しさを分かりやすく説明する順序を考え、発表メモを作ることができる。

(2) 展開

学習活動	思考を促す発問や指示 (◎) と 反応例 (・), 学習内容	指導の手立て (○) と評価
1 学習課題を確認する。	考えたどうぐのべんりさやたのしさを、分かりやすくせつめいするじゅんじょを考えよう。	○便利さや楽しさを分かりやすく説明するには、何をどんな順序で話せばよいか、〈中〉のまとまりの中で考えることを確認することによって、課題意識をもてるようにする。
2 学習の進め方を確認する。	<p>【学しゅうのすすめ方】</p> <p>① べんりさやたのしさを分かりやすくせつめいするポイントをみんなで考える。</p> <p>② せつめいするじゅんじょを、じぶんで考える。</p> <p>③ ペアでせつめいし、アドバイスする。</p> <p>④ じゅんじょを見なおす。</p>	○学習の進め方を確認することにより、見通しをもって活動できるようにする。
<p>3 説明する順序を考える。</p> <p>(1) 便利さや楽しさを分かりやすく説明するポイントを、全体で確認する。</p> <p>(2) 説明する順序を自分で考える。</p> <p>(3) ペアで説明し、アドバイスする。</p> <p>(4) 説明する順序を見直す。</p> <p>4 考えた順序を全体で発表する。</p>	<p>【分かりやすくせつめいするポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わけ」を先に話す。 ・「はたらき」については、「いちばんのおすすめ」を先に話す。 ・「形や大きさなど」については、くわしいことをあとで話す。 <p>◎考えた道具の便利さや楽しさを分かりやすく説明するには、何を、どんな順序で話せばよいでしょう。</p> <p>◎どんな道具について説明するのか、〈始め〉のまとまりを話してから、〈中〉のまとまりの順序を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「洗濯物がすぐ乾く便利な道具」です。だから、「暖かい空気が出てくる」ことを先に話します。 ・「動物と話ができる楽しい道具」です。だから、「帽子をかぶると動物の言葉が分かる」ことを先に話します。 	<p>○第1次で教師が提示した発表モデルのメモを使い、分かりやすく説明するポイントを全体で確認し、それを観点として、個やペアで考えるようにする。</p> <p>○ペアで説明し合い、分かりやすく説明できているかをアドバイスし合えるようにする。</p> <p>〈評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく説明するポイントをおさえて、発表メモに付箋を貼っている。 <p>《発言・発表メモ》</p> <p>○自力で順序を考えることが難しい子には、「いちばんのおすすめ」のはたらきを問い、それを中心に説明するように支援する。</p>
5 本時の学習を振り返る。		○振り返りの観点に沿って○を付けたリ記述したりすることで、自己評価につなげる。
6 次時の学習を確認する。		○次時は、発表練習に向けて発表に使う絵を見直すなど、発表資料を整理することを確かめ、意欲をもてるようにする。